



Press Information

VPR15-025

2015年3月4日(水)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

新型「パサート」が欧州「カー オブ ザ イヤー 2015」を受賞

● ヨーロッパ最高の自動車賞を8世代目となるベストセラーカーのパサートが獲得

ウォルフスブルグジュネーブ、2015年3月2日 - 欧州「カー オブ ザ イヤー 2015」がフォルクスワーゲンに授与されました。毎年1回、国際的な「カー オブ ザ イヤー」審査委員会によって授与されるこの権威ある賞を、新型「パサート」が受賞。ジュネーブ国際モーターショー開催の前日、3月2日午後に発表が行われました。

「今回の受賞を非常に誇りに思います」と、フォルクスワーゲン AG 最高経営責任者(CEO)の Prof. マルティン ヴィンターコルンは、ジュネーブで開催された授賞式で述べました。「新型パサートによって、私たちは、技術と品質の両面で、クラスの基準となるクルマの開発を、再び成功させました。今回の栄誉は、このプロジェクトに関わったエンジニア、デザイナー、そして他のすべてのチームメンバーにとって大きな励みとなるものです。新型パサートにより、フォルクスワーゲン ブランドは、現在の課題に対して正しい答えを持っていることが証明されました。」

賞を受け取ったフォルクスワーゲンブランド開発担当取締役のハインツ-ヤコブ ノイサーは、次のようにコメントしています。「カー オブ ザ イヤー2015の栄誉に輝き、大変嬉しく思っています。世界各国で活躍している専門のジャーナリストによって選出されるこの賞は、わたしたちにとって特別に意義のあるものです。もちろん、今回の受賞が、私たちのお客様にとっても大きな意味を持っているということは、いうまでもありません。」

ヨーロッパでもっとも歴史が古く、もっとも広く知られた賞のひとつである「カー オブ ザ イヤー」は、1964年の創設以来、毎年その年に発売された新車の中から最高の1台を選出し、表彰してきました。選考委員は、ヨーロッパ22カ国から選ばれた合計58名のモータージャーナリストにより構成されており、最終選考にノミネートされたのは7台でした。この7モデルは、数か月間にわたり、経済性、快適性、安全性、ドライビング特性、機能性、デザイン、技術の先進性といった選考基準に基づいて、詳細なテスト、比較および評価が行われてきました。その結果、新型「パサート」は、ほかの6台のライバルを抑え、合計で340ポイントを獲得し栄冠に輝きました。現在販売されているフォルクスワーゲンモデルでは、ほかに「ポロ」(2010年)および「ゴルフ」(2013年)がこの権威ある賞を獲得しています。また、新型「パサート」は、今回の「カー オブ ザ イヤー 2015」受賞に先立って、「ゴールデン ステアリングホイール賞 2014」や、「オート トロフィー 2014」などの名誉ある賞も、国内外で受賞しています。

新型「パサート」は、様々なバージョンを含めて、今日世界でもっとも成功しているミドルクラスカーの1台です。2014年には全世界での販売台数が110万台に達し、フォルクスワーゲン グループの中で最も多く販売されたモデルとなりました。8世代目となる新型「パサート」は、クラスのベストセラーというだけでなく、もっとも革新的なクルマでもあります。

先進的な技術アプローチにより、デザインは、従来型よりも大幅にダイナミック(低くなったボディ、長くなったホイールベース、大径のホイール)になりました。室内寸法は従来型と変わっていませんが、実質的な居住性は大きく向上しました。同時に、最新のテクノロジーも数多く採用されており、なかでも、アクティブ インフォ ディスプレイ(完全なデジタルインストルメントパネル)、拡張式ヘッドアップ ディスプレイ、アプリを活用したタブレット端末用のリヤシート エンターテインメント、シティエマージェンシーブレーキ付きフロントアシスト、ペDESTリアン モニタリング(歩行者監視システム)などは、いずれも注目の新システムです。さらに、エマージェンシーアシスト(緊急時に車両を停止)、トレーラーアシスト(牽引中の運転操作をサポート)、トラフィックジャムアシストの 3 つは、世界初採用となるテクノロジーです。搭載されるエンジンは、いずれも直噴システムとターボチャージャーを採用した合計 10 種類のガソリンおよびディーゼルユニットで、88kW/120PS から 206kW/280PS の幅広いパワーレンジをカバーしています。

また、今年秋頃には、プラグイン ハイブリッド システムを搭載した最初のパサートである「パサート GTE」*も発売される予定です。このモデルには、115kW/156PS のパワーを発生する 1.4 リッター TSI エンジンと出力 85kW/115PS の電気モーターが搭載され、プラグイン ハイブリッド システムによるトルクは最大 400Nm です。「パサート GTE」では、これらのパワーとトルクが、きわめて環境に優しく、効率的な方法で活用されます。ヨーロッパの NEDC サイクルによる燃料消費量(ハイブリッド車として)は、2.0ℓ/100km もしくは 13.0kWh/100km 以下という、素晴らしいエネルギー効率を実現しています。これを CO₂ の排出量に換算すると、わずか 45g/km 以下となります。TSI とのコンビネーションの結果、50 リットルの燃料タンクとフル充電されたバッテリーにより、1,000km を超す航続性能も達成しています。

*「パサート GTE」は未発売モデルのため、燃料消費量の数値(2.0ℓ/100km、CO₂ 排出量 45g/km)はいずれも推定値です。